

授業科目 法学 I

【担当教員名】 狩野 祥司		対象学年	1	対象学科	社会
		開講時期	前期	必修選択	必修
		単位数	2	時間数	30
【カリキュラムポリシーとの関連性】					
知識・理解	思考・判断	関心・意欲	態度	技能・表現	
◎	○	◎	○	○	
【概要・一般目標：G10】 成年後見制度を始めとした権利擁護活動の概要について講義を中心に理解する。					
【学習目標・行動目標：SBO】 1 相談援助活動と法（憲法の基本原理、民法・行政法の基本概念を含む）について概説できる。 2 成年後見制度（後見人等の役割を含む）について説明できる。 3 成年後見制度の実際（成年後見制度利用支援事業等を含む）について説明できる。 4 権利擁護にかかわる組織・団体について説明できる。 5 権利擁護活動の実際について概説できる。					
回数	授業計画・学習の主題			SBO 番号	学習方法・学習課題 備考・担当教員
1	受講上の留意点、相談援助と法				講義
2	相談援助活動と法（憲法1）				講義
3	相談援助活動と法（憲法2）				講義
4	相談援助活動と法（行政法1）				講義
5	相談援助活動と法（行政法2）				講義
6	相談援助活動と法（民法）				講義
7	成年後見制度1				講義
8	成年後見制度2				講義
9	成年後見制度3				講義
10	日常生活自立支援事業				講義
11	権利擁護にかかわる組織・団体				講義
12	権利擁護にかかわる専門職				講義
13	権利擁護の実際1				講義
14	権利擁護の実際2				講義
15	まとめ				講義
【使用図書】		<書名>	<著者名>	<発行所>	<発行年・価格 他>
教科書 (必ず購入する書籍)		新・社会福祉士養成講座第19巻「権利擁護と成年後見」	社会福祉士養成講座編集委員会	中央法規	2013・2,200円＋税・最新版
		社会福祉小六法	ミネルヴァ書房編集部	ミネルヴァ書房	2013・1,600円＋税・最新版
参考書					
その他の資料					
【評価方法】 出席、定期試験及び授業参加意欲を総合的に評価する。		【履修上の留意点】 あらかじめ教科書等を読み、基本知識を整理したうえで受講する。			